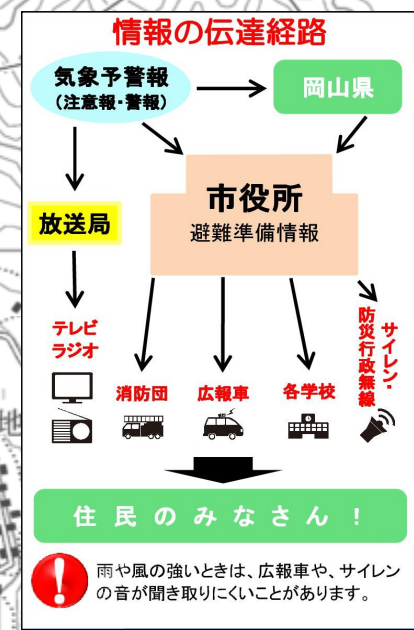
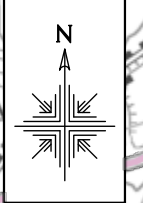


「片上大池」ため池災害ハザードマップ



避難場所・連絡先

避難場所/ 家族の集合場所/ 家族の連絡先	氏名	連絡先

緊急連絡先

電話番号 (市外局番0869)	所在地
備前市役所（建設課）	64-3301 東片上126
岡山県備前警察署	63-0110 伊部276-1
東備消防組合消防本部	64-1119 西片上2039

避難場所

電話番号 (市外局番0869)	所在地
大東自治公民館	東片上565-2
片上小学校	64-2049 西片上335
備前緑陽高等学校	64-2871 西片上97
備前商工会館	64-2885 東片上230

浸水の範囲と浸水深

浸水の状況	50cm未満	50cm~1m	1m~2m	2m~5m	5m以上
床下が浸水	床下が浸水	避難が困難となる	1階部分が水没	2階部分が水没	2階屋根以上が水没

ため池諸元

ため池諸元	片上大池
堤高	9.4 m
堤長	203.0 m
貯水量	194 千m ³

地図凡例

	ため池
	避難方向
	洪水到達時間
	避難所
	災害対応型自動販売機
	警察署・交番駐在所
	災害時ヘリポート
	緊急輸送道路
	JR線
	新幹線

縮尺 1:12,000 (A3用紙印刷時)

0 50 100 200 300 400 500m

◎このマップには、ため池の堤防が決壊した時の洪水等に備えるための情報が載っています。
 ○避難場所 ○避難の方向 ○想定される浸水の範囲と深さ ○洪水の到達時間

※必ずしもこのマップのとおり被害が発生するとは限りません。
 有事の際には、市の防災情報や避難情報に従って避難するとともに日頃から地形を確認し安全な避難に役立ててください。

○浸水想定区域について
 「浸水想定区域」は、ため池の堤防が決壊した時の「浸水区域・深さ」を表示したものです。

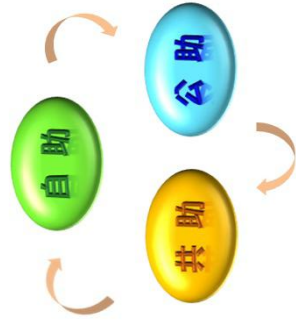
○洪水到達時間
 「洪水到達時間」は、農村工学研究所「ため池DBハザードマップ簡易汎用解析Ver.4」で解析した「洪水到達時間」を表示したものです。

この図面は農村工学研究所「ため池DBハザードマップ簡易汎用解析Ver.4」にて国土院「国土基盤情報5mメッシュ標高、10mメッシュ標高」を使用して行った簡易汎用解析の結果を出力し、地形図に重ね合わせて表示したものです。

1. 地域の防災について話し合い

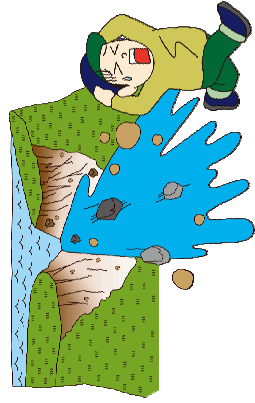
自助・共助・公助

災害は必ず発生します。日ごろから正しい防災知識を身に付け、地震や風水害などの様々な災害に対する備えをしておくことが必要です。また、災害による被害を減らすためには、自助・共助・公助」の連携が大切です。



- 自助とは、住民一人ひとりが自分自身を災害から守ることです。
- 共助とは、地域社会で助けあい、お互いを災害から守ることです。
- 公助とは、国・県・市など行政が住民を災害から守ることです。

まずは住民の皆さんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災の基本に立ち返り、自主防災組織の活動や地域の防災行事に積極的に参加して、助け合いの心あふれる安全で安心な地域社会をつくっていきましょう。



大雨によるため池の決壊

地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、また降り始めから80ミリ以上の雨が続いたら、災害の危険性が高くなります。浸水対策を含め、十分な警戒が必要です。

地震によるため池の決壊

地震による決壊は、地震の揺れを原因として一気におこる場合と、しばらく時間が経過した後おこる場合があります。

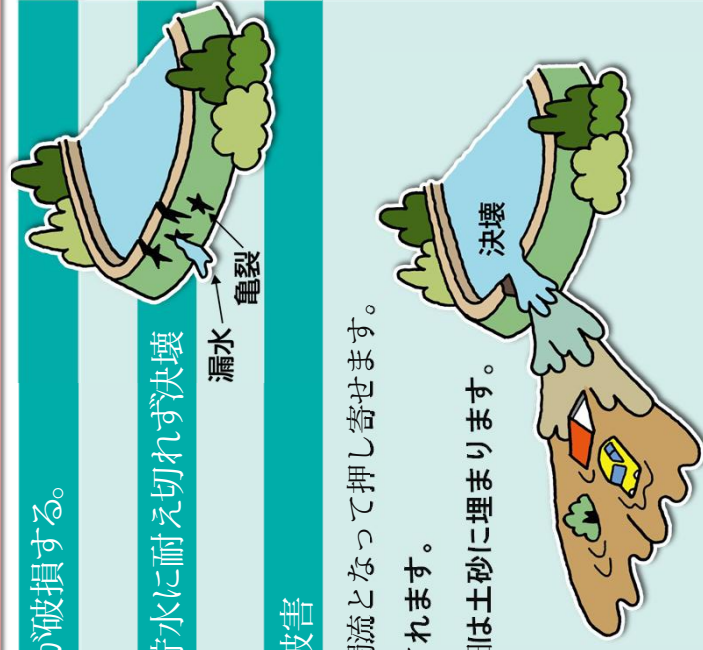
3. ため池決壊の起こり方とその被害

① 大雨や地震で堤防が破損する。

② 破損した堤防が、貯水に耐え切れず決壊

③ ため池決壊による被害

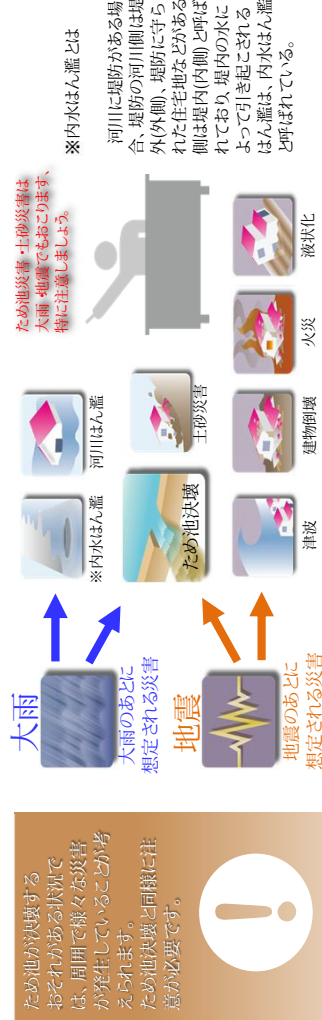
- 大量の水や土砂が濁流となって押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



ため池にこんな現象がみられたら場合は、決壊のおそれがあります。すぐ避難しましょう。

- 堤防に亀裂がみられる。
- 張りブロックが壊れている。
- 堤防から漏水がみられる。

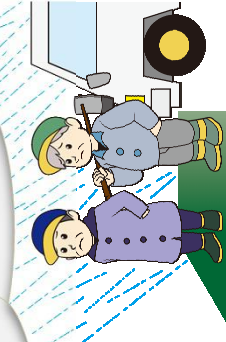
ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



2. 日頃のため池管理

- ため池の草刈
堤体上の雑草は、ため池の亀裂や陥没、変形、モグラの穴などの変状を確認する上で妨げになります。年に数回草刈りをし、樹木類は幼木のうちに必ず伐採して、ため池をきれいにしていきましょう。
- 漏水の確認
漏水等の確認のため定期的な巡視を行います。漏水があっても直ちに危険ということにはなりません。流水に堤体の土が混じり濁っている場合は特に注意が必要です。貯水位を下げても市へ相談してください。
- 余水吐の管理
余水吐はため池の規定水位を保つための施設であるため、余水吐に土や材木等で堰上げをし、水位を上げることはため池の決壊を招く恐れがありますので、絶対にやめましょう。また、余水吐に流木やゴミがある場合や草等が茂っている場合は、洪水時の流水を妨げますので、日頃からごみ等の除去をしましょう。
- 貯水位の適正な管理
長期間にわたり水位を下げていたり堤体に亀裂が生じることがあり、この状態で急激に水位を上昇させると浸透水で堤体が壊れる場合があります。逆に、満水状態から急激に水位を下げると堤体がすべりを起こすことがありますので適正な管理をしましょう。

ため池の異常をいち早く報告しましょう。
地域でため池を管理しましょう。



- 大雨や局地的豪雨、地震があった場合は、十分に注意しながらため池の監視を行ってください。
- 現地で行動する際は、安全確保のため、必ず2人以上でおこなってください。

異常に気がいたら備前市役所へ連絡してください。

[建設課] (0869)64-1830
[夜間・休日] (0869)64-3301

4. 災害時の備え・注意点

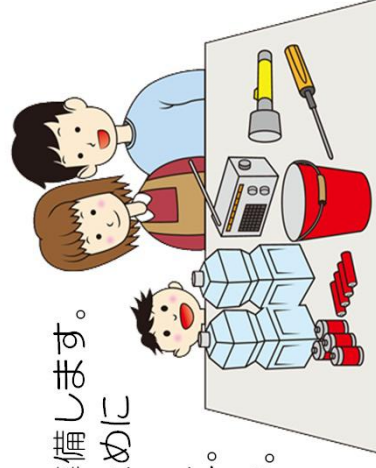
家庭内では

- 気象情報や、防災関係機関等の広報をよく聞いておきます。
- 状況によって、遠出や外出は中止します。
- 避難場所について再確認します。
- 勤務先にいる家族などと連絡をとり、非常時に備えます。
- 家財道具・食料品・布団・衣服など生活に欠かせないものを、安全な場所へ移動します。



用意しておくものは

- 3日以上上の非常食（調理不要なカップ麺やレトルト類）、飲料水を用意して、断水や濁り水に備えます。
※飲料水は乳幼児や病人がいる家庭では特に必要です。
- 懐中電灯を家族に心じて準備します。
また、正しい情報を聞くためにラジオの用意もします。
※予備の電池も忘れずに。
- 大工道具も用意しましょう。



事前の情報収集で、余裕を持った行動をしましょう！